

1 施策の全体像

5年間の小牧山全体のスケジュール

・プロジェクト発足による推進体制の確立  
 ・(仮称)史跡センターオープンに向けた準備

P

・(仮称)史跡センターオープンと各事業

C A P

目指す姿	指標	施策	方向性	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
観光拠点としての更なる活用	●観光ボランティアガイドの年間利用者数	(仮称)史跡センターの開設に向けた史跡ガイドの充実等	<b>【目標・目的】</b> ・小牧市への来訪者のニーズに合ったガイドが行える。 ・(仮称)史跡センターにガイドが常駐し、小牧山の歴史や自然等の案内が行える。 <b>【事業・手段】</b> ・観光ボランティアガイドの充実(増員・レベル・コース) ・(仮称)史跡センター案内ガイドの養成と体制の確立	・観光サポーター養成講座開催	・研鑽講習・現地研修の実施(隔年実施)  ・(仮称)史跡センター常駐ガイドの養成・案内や申し込み等実施体制の確立	・実施	・研鑽講習・現地研修の実施(隔年実施)		
	【目標値】 2,000人 【平成29年実績】 994人		<b>【目標・目的】</b> ・来訪者に小牧山の魅力を十分に伝えることができる。 <b>【事業・手段】</b> ・案内看板等史跡ガイドの手法を確立し体制を整える		・効果的なガイダンス手法(例:案内看板・ARの導入)の検討・スケジュール作成・必要に応じ予算化	・効果的なガイダンス手法のうち可能なものから実施	・ガイダンスの実施		
	●観光ボランティアガイドの人数	(仮称)史跡センターを軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等	<b>【目標・目的】</b> ・(仮称)史跡センターに観光地として必要な機能が整備されている。 <b>【事業・手段】</b> ・小牧山観光誘客推進プロジェクトメンバーによる必要な機能の洗い出しと整備		・小牧山歴史館にWi-Fi設置 ・必要な機能を洗い出す	・関係各課と機能整備に向けた調整・検討を行う(ガイダンスの充実と連動)	・機能整備施工		
	【目標値】 60人 【平成29年度実績】 20人		<b>【目標・目的】</b> ・小牧市及び小牧山を、より多くの人に知ってもらい、来訪してもらう。 <b>【事業・手段】</b> ・商談会への参加等誘客活動を行う ・ツアー商品を開発する ・誘客に向けた魅力の発信活動を行う	・小牧観光めぐりツアーの実施 ・商談会参加	・商談会参加等プロモーションの実施(随時) ・小牧観光めぐりツアーの実施 ・パンフレットの作成	・モニターツアーの実施	・ツアーの実施	・(仮称)史跡センターオープンにあわせて実施した各事業の評価とその改善策を検討、次年度以降の計画を練る	
	●小牧市歴史館の年間来館者数	小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等	<b>【目標・目的】</b> ・小牧山の歴史やロケーション等魅力の効果的なプロモーションとその手段としてのイベントを一体的に行う。 <b>【事業・手段】</b> ・小牧山の魅力を発信できるプロモーションとイベントの検討と実施	・小牧山を会場とした各種イベントの実施(例)小牧山さくらまつり、こまき信長夢夜会	・新たな観光コースの検討 ・効果的な魅力発信の検討	・プロモーション及びイベントの実施	・プロモーション及びイベントの実施		
	【目標値】 100,000人 【平成29年実績】 60,982人		<b>【目標・目的】</b> ・他都市と連携した旅行商品を造成することで、「広域観光」を発信し、小牧山の魅力と集客力を高め、誘客を行う。 <b>【事業・手段】</b> ・スタンプラリーの実施 ・犬山城を含むツアー造成	・日本遺産申請 ・スタンプラリーの実施(信長公居城連携協議会)  ・尾張広域観光協議会開催	・スタンプラリーの実施(信長公居城連携協議会)  ・犬山城との連携についての検討	・スタンプラリーの実施	・犬山城とツアー造成		
	●小牧山周辺の街並み整備等	<b>【目標・目的】</b> ・小牧山周辺に、観光地としての雰囲気をつくる。 <b>【事業・手段】</b> ・小牧駅から小牧山への導線を充実させる				・必要な事業・整備の洗い出し	・関係各課と検討		C A P

小牧山観光誘客推進プロジェクト発足による、施策推進体制の確立

## 2 平成 29 年度の総括と次年度の事業計画

# 着実な準備で(仮称)史跡センターオープンに向かう

今年度は、小牧山観光誘客推進プロジェクトの活動にて、小牧山の「魅力の掘り起こし」が進められ、それにより、「必要な機能整備に関する提案」や、「新たな小牧山パンフレットの作成」等を行いました。

また、「観光ガイドの機能強化」という方針にのっとり、小牧市観光ボランティアガイドの内容を見直し、新たな体制を検討・整備したほか、小牧市歴史館への無料公衆無線 LAN 整備や、史跡公園への新たな観光看板の設置を行うなど、(仮称)史跡センターオープンに向けて、着実に準備を進めました。



### ●評価指標の実績

	基準値 (H28 年)		平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	目標値 (H32)
観光ボランティアガイドの年間利用者数	668 人	▲	994 人			2,000 人
観光ボランティアガイドの人数(年度)	21 人	▲	20 人			60 人
小牧市歴史館の年間来館者数	77,453 人	▲	60,982 人			100,000 人

### ●平成 30 年度の主な事業計画

#### 小牧山春のキャンペーン

##### ねらい

これまで市が主催する春の“観光事業”は、小牧山さくらまつりに留まっていたものを、小牧山及びその周辺について、包括的に観光プロモーションを展開することで、魅力の発信と誘客を行い、イベントに頼らない、一年を通して安定した交流人口の増加を目指す。

※平成 29・30 年度の債務負担行為による事業

##### 具体的な内容

小牧山及びその周辺における春(3月中旬~5月下旬)の観光スポット・イベント・グルメ等の情報を A3 のチラシにまとめて発信し、小牧山のさくらの集客力を利用しながら、小牧山一帯の魅力の発信と誘客を目指す。

#### 観光ボランティアガイド新体制の実施

##### ねらい

実際にガイドが現地を案内して、生きた言葉で伝えることで、現場で当時の様子を具体的に想像し、感じ取っていただく。

そして、訪れただけ・一面的な発信方法では伝えきれない、小牧山にしかない価値や魅力を来訪者に届ける。

##### 具体的な内容

平成 29 年度に開始した定期開催のガイドについて振り返り、体制の強化・改善を行う。

また、平成 31 年春の(仮称)史跡センターオープンに向けて、ガイダンス手法と体制の確立を目指す。

### 3 平成 29 年度の主な取り組み

#### ●小牧山観光誘客推進プロジェクト

##### 計画書における位置付け・事業の趣旨

キーワード「小牧山」の、魅力の掘り起こしを行うと共に、それを伝える具体的なおもてなしの方策を導き出し、「小牧山」に関する施策全体を推進するため、庁内関係課及び(一社)小牧市観光協会にて構成されるプロジェクトを設置するもの。

##### 概要

平成 31 年春の(仮称)史跡センターの開設に合わせ効果的・戦略的に観光推進施策を展開するため、プロジェクトの下部組織としてワーキングチームを発足し、ワークショップによる小牧山の魅力の掘り起こしを行い、「(仮称)史跡センターのオープンと連動したプロモーション」や「イベントを含めた小牧山の利活用」といった、保全・維持・活用を一体的にとらえた小牧山の活用と観光誘客に向けて取り組む。平成 28 年度に発足し、平成 29 年度末まで設置。



##### プロジェクトメンバー

課名	平成 28 年度		平成 29 年度	
	役職	氏名	役職	氏名
地域活性化営業部	次長	丹羽 猛	次長	小林 直浩
シティプロモーション課	課長	武市 礼子	課長	小笠原 浩二
小牧山課・生涯学習課	課長	村田 吉隆	課長	岩本 淳
みどり公園課	課長	水野 隆	課長	水野 隆
広報広聴課	課長	石川 徹	課長	石川 徹
市長公室・秘書政策課	課長	宇野 嘉高	次長兼主幹	鵜飼 達市
(一社)小牧市観光協会	専務理事	山内 均	専務理事	山内 均

##### ワーキングチームメンバー

課名	役職	平成 28 年度	平成 29 年度	課名	役職	氏名 (28・29 年度)
		氏名	氏名			
小牧山課	係長	浅野 友昭	浅野 友昭	公園緑地協会	主査	鈴木 隆行
小牧山課	主査	小野 友記子	小野 友記子	商工会議所	企画運営課次長	杉山 光次
施設活用協会	主査	清田 憲司	清田 憲司	発掘作業員	—	平手 卓
みどり公園課	係長	堀場 武	矢澤 浩司	小牧市自然環境観察人	—	柴田 和則
みどり公園課	主事	松富 祐太	松富 祐太	自然観察指導員	—	清水 豊
広報広聴課	主任/主査	矢葺 栄次	矢葺 栄次	観光ガイドボランティア	—	鵜飼 公俊
広報広聴課	主事	兵頭 朋恵	尾崎 拓実	観光ガイドボランティア	—	伊熊 啓人
秘書政策課	主事	加藤 みどり	—			
スポーツ推進課	主事	富安 笑子	富安 笑子			
(一社)小牧市観光協会	書記/事務局長	八木 祐介	名坂 敏彦			

3 平成 29 年度の主な取り組み

活動



	日時	場所	概要
平成 28 年度	1 月 26 日 (木)	市役所	<b>【第 1 回小牧山観光誘客推進プロジェクトチームキックオフミーティング】</b> ・プロジェクトの概要と、今後の検討事項・スケジュールについての確認。 ・各課より、小牧山に関する状況報告。 ・観光誘客推進研修 講師：電通 CDC 統合ディレクションルーム 若林 宏保 氏 ～「小牧山」を軸とした観光誘客推進に向けてのブランディング～
	2 月 24 日 (金)	小牧山	<b>【第 1 回ワーキング小牧山散策】</b> 小牧山課/小野主査によるレクチャー ・“信長編”として織田信長を切り口に小牧山を座学と現場散策により学ぶ。
	3 月 28 日 (火)	小牧山	<b>【第 2 回ワーキング小牧山散策】</b> 小牧山課/小野主査によるレクチャー ・“家康編”として徳川家康を切り口に小牧山を座学と現場散策により学ぶ。
平成 29 年度	5 月 11 日 (木)	小牧山	<b>【第 3 回ワーキング・フィールドワーク(自然)】</b> 自然観察指導員/清水豊氏によるレクチャー ・小牧山を歩き、自然の魅力や紹介したくなるポイント等のアイデアを集約。
	6 月 30 日 (金)	市役所	<b>【第 4 回ワーキング】</b> これまでのまとめと今後の展開の確認 ・事務局より、「中間報告(案)」及び「新たな小牧山パンフレット作成」と「小牧山カラーキャンペーン」を提示し、ワーキングチームの活動のまとめを行う。
	8 月 22 日 (火)	市役所	<b>【プロジェクト会議】</b> <b>中間報告</b> ・中間報告としてワーキングチームの活動報告を行うと共に、「新たな小牧山パンフレット作成」に関する趣旨を説明。「必要な機能整備」に関して、所管課へ提言。
	3 月 29 日 (木)	市役所	<b>【総括】</b> <b>最終報告</b> ・最終報告として2年間の活動のまとめを行うと共に、掘り起こされた魅力がどのような具体的方策へと落とし込まれるのか、成果と今後について報告を行う。

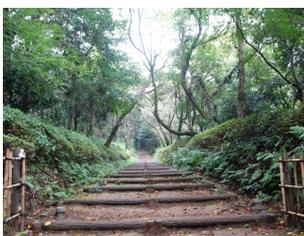
### 3 平成 29 年度の主な取り組み

#### 魅力の掘り起し(プロジェクト活動概要)

##### 歴史散索 ー第 1・2 回フィールドワークー

(ワークシートより ※一部)

- ・小牧山全体が国指定史跡公園。
- ・石垣、擁壁・土木技術のルーツの小牧山城である。
- ・「見せる石垣」。
- ・自然の中にそのまま残っている土塁・堀・石垣・曲輪・虎口などの歴史遺産。
- ・戦国時代の遺構がそのまま多く残っており、それを直接目にすることが出来る。
- ・信長の城作りを基にした、当時の考え方が想像できる。
- ・家康の陣城としての防御策の実態が解る。
- ・戦国武将たちの青春時代というサイドストーリー。
- ・小牧山城を彩る姫君たちというサイドストーリー。  
…あの信長に命がけの恋があった。
- ・日本最古の墨書石垣石材  
…「佐久間」「パワーストーン」を感じます。
- ・小牧山にある「石切り場」  
…織田信長築城時代にタイムスリップしたエリアです。これこそ「パワーストーン空間」です。



##### 自然散索 ー第 3・4 回フィールドワークー

(ワークシート抜粋 ※一部)

- 春：くすのき、はなのき、セイヨウタンポポ、うぐいす、ハシボツカラス、クロアゲハ、アゲハチョウ・・・
- 夏：シャシャンポ、ユズリハ、ツブラジイ、コゲラ、コジュケイ、テントウムシ、ナナフシ、カブトムシ、カノコカ・・・
- 秋：ヤツデ、クロガネモチ、ヨメナ、ヒガンバナ、アオサギ、ダイサギ、ハグロトンボ、ツクツクボウシ・・・
- 冬：ヤブツバキ、ヒヨドリ、ツグミ、セキレイ、コナラ、さくら、カエデ、クスノキ、タブノキ、合瀬川の鯉・・・

- …歴史的価値と同じように子どもたちが、自然と触れ合うことが出来る身近なエリアとしても魅力ある場所。
- …小牧山は街の中にある自然界と触れ合うことのできるエリア。
- …桜の馬場や芝生の広場で子ども達が遊ぶことができ、ジョギング・散歩コースとして大人（高齢者）などが利用できる。
- …駅や商業施設など市街地から近く、アクセスが良いため、足を運びやすい。



これらの掘り起こされた魅力を、具体的なおもてなしの方策に落とし込む。

### 3 平成 29 年度の主な取り組み

#### 具体的な方策(プロジェクト活動概要)

#### ◎掘り起こされた魅力を冊子にまとめて発信する

##### Komakiyama ガイドブックの作成

まちのシンボルである小牧山について、その歴史的な価値や魅力を分かりやすく記載しながらも、「小牧山＝史跡・主たる観光資源」にとらわれず、森林浴や低山ハイク等あらゆる切り口から紹介するとともに、周辺の観光スポットやグルメ等と合わせた楽しみ方を提案する冊子を作成しました。

発行：平成 30 年 3 月末

部数：30,000 冊



#### ◎ソフト面を整備する

##### 小牧観光ボランティアガイドの充実

観光ボランティアガイドがフィールドワークに参加することで、史跡小牧山の歴史的な価値を学び直すとともに、自然の豊かさや憩いの場の公園として等、多方面から小牧山の魅力を再確認しました。

##### フィールドワークの内容を資料化

フィールドワークの内容を資料としてまとめてフィードバックし、より多くの人へ掘り起こされた魅力を伝えるとともに、さらなるガイダンス内容の向上を図りました。

#### ◎掘り起こされた魅力を新たな手法で発信する

##### 小牧山春のキャンペーンの開催

掘り起こされた魅力を発信するとともに、小牧山を軸とした新たなプロモーションの手法を展開するため、小牧山及びその周辺における春の観光スポット・イベント・グルメ等の情報を A3 のチラシにまとめて発信する、小牧山春のキャンペーンを実施します。(P11 参照)

#### ◎ハード面を整備する

##### 必要な整備の洗い出し

観光誘客のため、小牧山に必要な整備を洗い出し、関係各課へ提言しました。

##### ○今年度の機能整備

小牧市のシンボルであり主たる観光資源である小牧山に、観光案内看板を作成し、魅力発信を行いました。(P17 参照)

##### ○予算化された整備 ※一部

- ・桜の馬場トイレ改修工事

[平成 30 年度/設計]2,773 千円

- ・小牧山樹木整備基本設計業務委託

[平成 30 年度]12,200 千円

#### 今後について

小牧山観光誘客推進プロジェクトでは、そのほかにも小牧山に必要な機能や、掘り起こされた自然の魅力を活かしたイベントなど、多くのアイデアが提案されました。

また、平成 31 年春には(仮称)史跡センターがオープン予定であり、それを目指してガイダンス手法と体制を、固めていく段階を迎えます。

今後も、プロジェクトの検討結果を元に、具体的なおもてなしの方策を、ソフトとハードの両面から取り組んでいきます。

### 3 平成 29 年度の主な取り組み

#### ●小牧観光ボランティアガイド講座の実施

##### 計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「(仮称)史跡センターの開設に向けた史跡ガイダンスの充実等」に紐づく、現在主に小牧山で行っている観光ボランティアガイド事業の強化を図るもの。

##### 概要

現地研修も交えた全 4 回の講座を実施し、ガイドの養成とスキルアップを図る。

##### 主催者

(一社)小牧市観光協会

##### 申込・参加者

以下「参加人数」のとおり。※()内は参加人数に占める現小牧観光ボランティアガイドの人数。



##### 講座

	日時	場所	参加人数	概要
1	11月11日(土) 10時~12時	まなび創造館	20名 (8名)	「小牧観光の振興とおもてなし推進 名古屋の観光誘致や受け入れボランティア取り組みを参考にして」 (公財)名古屋観光コンベンションビューロー 観光誘致グループ長 田中朋子 氏
2	11月18日(土) 8時30分~17時	可児市 (蘭丸ふるさとの森) 八百津町 (杉原千畝記念館)	15名 (4名)	「蘭丸ふるさとの森・杉浦千畝記念館見学」 おもてなし案内人可児観光ボランティアガイド による説明と見学
3	11月25日(土) 10時~12時	小牧山	11名 (8名)	「定期観光ガイドツアーのルート現地研修」 小牧市観光ボランティアガイドリーダーによる 小牧駅発ガイドツアーの模擬案内と歴史館見学
4	12月5日(火) 14時~16時	小牧駅前 観光案内所	13名 (10名)	「観光ガイドのあり方について」 愛知県ガイドボランティアの会副会長 奥三河ふるさとガイド代表 高田孝典 氏

#### ●小牧駅発観光ボランティアガイドの定期開催

##### 計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「(仮称)史跡センターの開設に向けた史跡ガイダンスの充実等」に紐づく、現在主に小牧山で行っている観光ボランティアガイド事業の強化を図るもの。

##### 概要

これまでの、事前に申込書によって日付やコースを選択して利用できる有料のガイドに加え、平成 29 年 4 月より、毎月第 2 日曜と第 4 土曜に小牧駅集合出発にて、電話で申し込み可能な無料ガイドツアーを実施。

3 平成 29 年度の主な取り組み

	これまでの観光ボランティアガイド (継続)	定期観光ボランティアガイド (新規追加)
申し込み方法	申込書	電話
日付	指定可能 (要相談)	第 2 日曜・第 4 土曜
コース	コース例より自由に選択 (要相談)	小牧駅発～小牧山解散
料金	1,000 円	無料

●小牧市歴史館への Wi-Fi 整備

計画書における位置付け・事業の趣旨

「(仮称) 史跡センターを軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等」に紐づく、小牧山の機能整備を行うもの。

概要

小牧市歴史館を訪れる観光客に対して、無料公衆無線 LAN「小牧 FreeWi-Fi」の提供を行う。

開始

平成 29 年 6 月 1 日～

仕様

- ・ 時間：午前 6 時～午後 10 時
- ・ 1 日あたりの接続回数：4 回
- ・ 1 回の接続時間：15 分



●小牧山へ新たな観光看板の設置

計画書における位置付け・事業の趣旨

「(仮称) 史跡センターを軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等」に紐づく、小牧山の機能整備を行うもの。

概要

小牧山を訪れる観光客に対して、小牧市全域の観光案内を行い、小牧山を軸にした市の観光資源全体の魅力発信・周遊推進を目指すもの。

設置場所

小牧山史跡公園南入口



### 3 平成 29 年度の主な取り組み

#### ●小牧山を活用した様々なイベントの企画・実施

##### 計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等」に紐づく、小牧山の活用を推進するもの。

##### 一覧

(小牧市歴史館自主事業・企画展及び「小牧山利用届」より/※については主催者発表による数値)

日付	代表者	人数(約)	概要
2月17日(金) ～ 4月19日(水)	小牧市歴史館 【企画展】	—	「ひなまつり」というテーマで市に寄贈された昭和のものを中心にひな人形を展示
4月1日(土) ～ 4月14日(金)	小牧市 (シティプロモーション課) (一社)小牧市観光協会	92,592 ※	<p>【小牧山さくらまつり】 小牧山に咲き誇る桜とロケーションを活かした各種イベントの実施 (4/1～4/14)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボンボリ、灯籠、スポットライトによるライトアップ</li> <li>・桜の馬場、山北緑地での火気使用(BBQ)許可</li> </ul> <p>(4/1・2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野点</li> <li>・児童写生大会</li> <li>・さくらまつりで Instaglam</li> </ul> <p>(4/1・2・8・9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市歴史館の入館時間の延長及び無料開放</li> </ul>
4月16日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	50 ※	甲冑試着会
4月29日(土・祝)	小牧市歴史館 【自主事業】	160 ※	小牧山城本丸跡茶会
5月3日(水・祝)	小牧市 (一財)こまき市民文化財団	300	【あつまれ!小牧あそび城】 史跡公園や青年の家で、伝統的な遊びやレクリエーションゲームを開催
5月6日(土) ～ 5月7日(日)	小牧スカウト連盟協議会	600	【第13回親子ラリー】 ロープのはしご渡りや自然の材料を使ったクラフト、野外料理などを実施
5月14日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	36 ※	甲冑試着会



### 3 平成 29 年度の主な取り組み

日付	代表者	人数(約)	概要
5月19日(金) ～ 7月19日(水)	小牧市歴史館 【企画展】	—	「小牧山の花」というテーマで写真展を開催 メナード美術館「所蔵企画展 花」との連携企画として、2館の間で入館券の半券の提示による料金の割引を実施
5月21日(日)	小牧自然歴史の会	500	【小牧山陸のホタル・ヤマナメクジ観察会】 小牧山でホタル等の観察とともに各種イベントを実施(イベント) ・詩吟 ・おどり ・コンサート ・講演 ・ホタルキャンドルライトイルミネーション
6月24日(土)	小牧市 (スポーツ推進課)	60	【ノルディックウォーク講習会】 ノルディックポールを利用した小牧山の散策
7月21日(金) ～ 9月20日(水)	小牧市歴史館 【ジュニア企画パネル展】	—	「小牧山歴史探検」というテーマでパネル展示を開催
8月5日(土) ～ 9月16日(土) の土日	小牧市歴史館	—	【宵の歴史館】 開館時間を通常の16時30分までから延長し、20時まで開館するとともに、中学生以下の入館料を無料として、夕涼みのひと時と夜景の眺望を楽しんでもらう
9月3日(日)	小牧自然歴史の会	500	【白玉星草祭り】 伊勢神宮及び信長公ゆかりの植物鑑賞会とともに各種イベントを実施(イベント) ・尺八同好会 ・詩吟 ・白玉千草踊り ・大正琴同好会 ・キャンドルライトイルミネーション
9月16日(土)	小牧市 (シティプロモーション課 ・生涯学習課)	2,000 ※	【こまき信長夢夜会(同日開催小牧山薪能)】 中秋の名月のもと、野外で伝統芸能に親しむ「小牧山薪能」と“信長の過ごした秋の一夜を再現”をコンセプトに各種イベントを実施する「こまき信長夢夜会」を同日開催(イベント) ・信長茶寮(コンセプトに沿った飲食店の出店) ・フラワーパフォーマンス ・ライブペインティング ・ワイン講座 ・JAZZ 演奏 ・サルサ ・野点 ・会場のライトアップ



### 3 平成 29 年度の主な取り組み

日付	代表者	人数(約)	概要
9月22日(金) ～ 11月15日(水)	小牧市歴史館 【企画展】	—	「小牧山の歴史～昭和平成そして未来へ～」というテーマで、史跡指定を受けた昭和2年から、戦中・戦後・高度経済成長期を経て、現在までの小牧山の歴史と今後の史跡整備についてを紹介
10月7日(土)	小牧市 (スポーツ推進課)	60	<p>【ノルディックウォーク講習会】 ノルディックポールを利用した小牧山の散策</p> 
10月8日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	49 ※	甲冑試着会
10月21日(土) ～ 10月22日(日)	小牧市 (シティプロモーション課)	32,000 ※	<p>【小牧市民まつり】 ふれあいの輪を広げようをコンセプトに実施する、市最大のイベントにおける会場の1つとして、各種イベントを実施</p> <p>(イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽市楽座 …各都市の物産販売</li> <li>・駒来ぶらり市 …飲食コーナー</li> <li>・げんき村 …子ども達が体を使って遊べるコーナー</li> <li>・パフォーマンスステージ(和太鼓演奏他)</li> <li>・小牧市歴史館無料開放</li> <li>・オリエンテーリング 他</li> </ul>  
11月4日(土・祝)	小牧市歴史館 【自主事業】	180 ※	小牧山城本丸跡茶会
11月5日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	53 ※	甲冑試着会
1月28日(日)	訪問美容 ambiente	50	コマ回し大会の開催
3月18日(日)	愛知県ノルディック ・ウォーク連盟	60	ノルディック・ウォーク交流会

### 3 平成 29 年度の主な取り組み

#### ●信長公居城連携協議会

##### 計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等」に紐づく、小牧山の“織田信長の居城”という特性を活かした活動を行うもの。

##### 概要

戦国武将「織田信長」が城を構えた地である、清須市、小牧市、岐阜市、近江八幡市の4市にて協議会を構成し、織田信長の歩みを現代において体感できる広域連携の手法を確立し、共同PRを行うなど、観光振興を図るもの。

##### スタンプラリー

加盟4市の城跡を巡る、協議会が発足した平成22年度から毎年行われている事業。  
4箇所全てのスタンプを集め応募をすると、抽選で各市の景品・特産品が当たる。

##### 期間

平成29年4月29日(土・祝)～11月26日(日)

##### 参加者

381人



スタンプラリー台紙



小牧市景品(お菓子処 びすや)  
名古屋コーチン生みの親 平さんどら焼き 詰め合わせ

## 4 事例紹介

# 自然観察指導員

知って・探して・触れて…  
小牧市の自然のおもしろさを“伝え”ています。



### 主な活動

憩いの場としても人気の小牧山は、野鳥・昆虫・植物等、さまざまな自然であふれています。自然観察指導員は、観察会を通してそうした自然と“関わるコツ”を伝え、おもしろさや不思議さに気付き理解を深める手助けをしています。

参加した子ども達は、実際に野鳥や昆虫、植物を探して・触れて、五感を通して体感することで、発見に驚いたり喜んだりしながら、自然の楽しみ方や関わり方を学んでいます。



### 身近な自然観察会

小牧市には、小牧山のみではなく、ふれあいの森、兒の森、四季の森、大山川など、自然を楽しむことができるスポットがたくさんあります。

自然観察指導員の活動は、小牧山に留まりません。

出前講座として「身近な自然観察会」を提供していますので、子ども会や地域3あい事業などで利用することができます。



### 自然観察指導員 清水 豊 さん

観察会には、ぜひ、親子で参加してください。

家庭に帰ってからも、親子で語らい・振り返り、自然の楽しさを深めて欲しいと思っています。



### 小牧市自然環境観察人(所管：小牧市環境対策課) ※自然観察指導員の資格は日本自然保護協会が所管しています。



市では、市内の自然環境を保全・調査することを目的とし小牧市自然環境観察人制度を設けています。

市内の自然を観察し、その結果を市に報告することや自然に親しむことの大切さ啓発する活動を主とし、メンバーも随時募集しています。

また、毎月第1土曜日に兒の森で開催される定期自然観察会は一般参加も可能です。